

副業アカデミー FX講座

「資金管理」

(1) 資金管理こそ、トレードの**最重要スキル**です

- ・勝てるトレーダーは、資金管理が徹底している
- ・初心者ほど、軽視して見落としがちになる傾向がある

(2) 管理方法は、以下の3点のルール設定をすることが大事

- ① 取引をするポジションを、**どのくらいの期間持つのか**を決める
- ② 取引スタイルごとの、**適切な投資額とレバレッジ比率**を考える
- ③ **損切りをする価格帯**を決める



**資金管理を徹底しているだけで
大敗して相場から退場する可能性は激減します**

1. ポジションの期間設定
2. 取引スタイルとレバレッジの設定
3. 損切りの設定

1. ポジションの期間設定

ポジションの期間設定 について

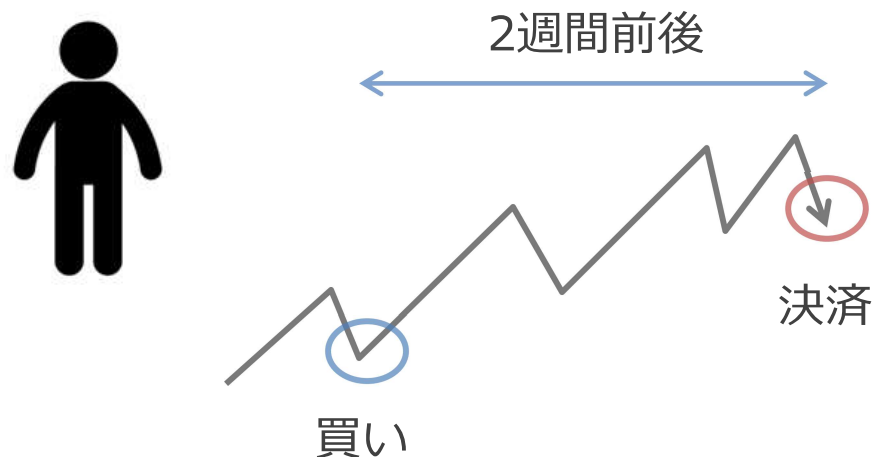
取引をするポジションを、どのくらいの期間持つのか決めましょう

- ・取引する前に、取引期間を事前に決めて原則的に途中変更してはいけない
- ・取引期間別に、基準にする時間足と狙う利幅が変わってくる

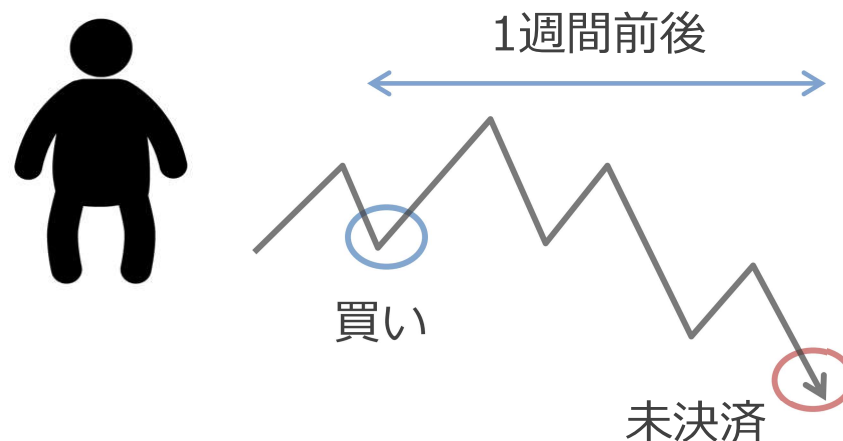
自分がしている取引スタイルを、他のスタイルと混同しないことが重要



中期目線で取引するから
取引期間は2週間位で考えておこう



1日の中で取引するつもりが
下落してきたしそのまま持っとう



1 - 1. 取引期間の目安

取引期間の目安と狙える利幅は、大きく4つに分けられます

取引手法ごとの、取引期間と利益幅の目安

	手法	期間	時間足	利益幅
超短期	スキャルピング	数秒～数分	1分足	1～10pips
短期	デイトレード	数分～1日	5分足	10～100pips
中期	スイングトレード	1日～数週間	1時間足	100～500pips
長期	ポジショントレード	数週間～数年	日足	500～1000pips

取引手法によって、取引期間と狙う利幅は変わる

例えば、1日で取引を終了させるデイトレをするのであれば、狙える値幅も1日の間で動く値幅分だけ狙って取引します。

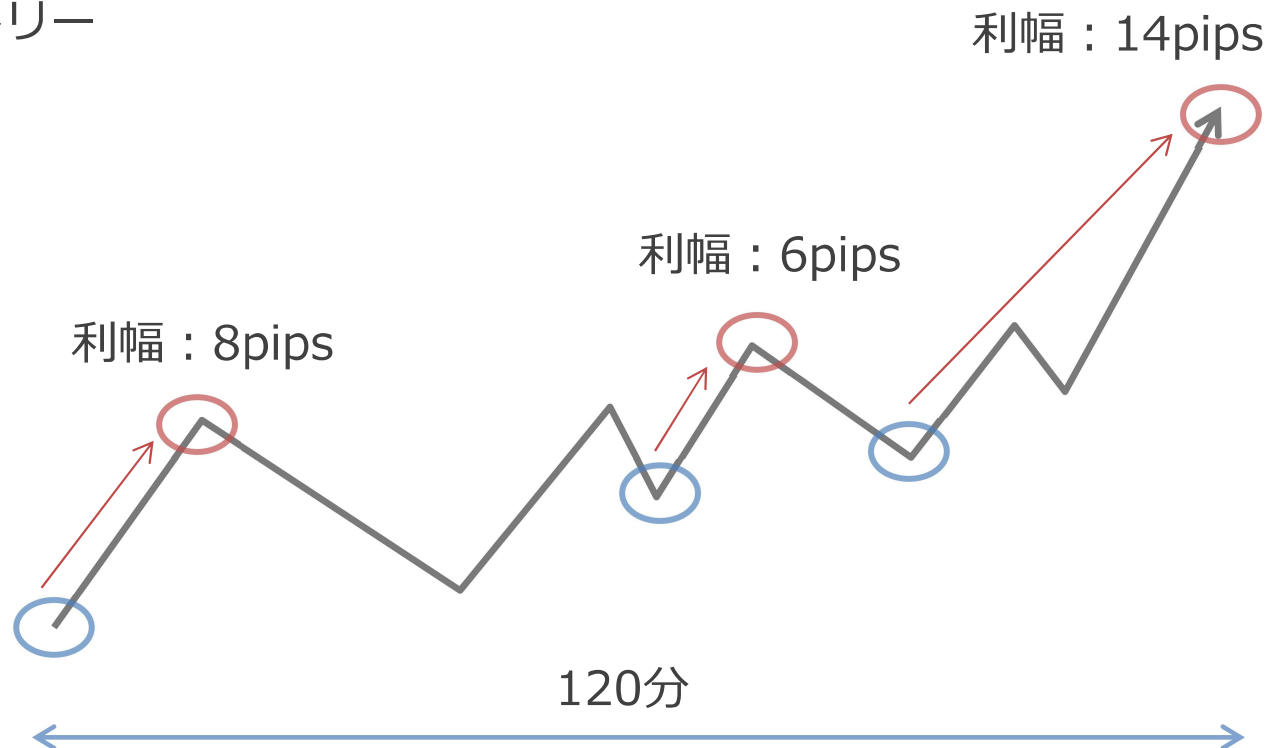
重要なことは、利益と損失のどちらになっようが1日で取引を終了しなければなりません。

1 - 2. スキャルピング

スキャルピングは、数秒～数分単位で取引をしていくスタイル

○ は新規買いエントリー

○ は決済売り



スキャルピングは、高レバレッジで細かい利幅の取引回数をこなす

相場の性質として、一定期間は一定方向に動くので、その動きに合わせて最小時間で利益を取っていくのがスキャルピングの特徴です。

損切りを淡々とこなすことができる前提条件が無い限り、初心者にはおススメしません。

1-3. メリット、デメリット

スキャルピングは、別名Jobbing[ジョビング]と言い、本来はプロが片手間でする取引です。初心者にはスキャルピングに走りやすいですが、瞬間的な判断と決断力を必要としますので技術が必要になります。

メリット

取引時間が短い分、マーケットリスクの影響が少ない

高いレバレッジで取引するので、小さい値動きでも利益になる

自分の空いた時間で、取引をすることができる

デメリット

取引中は、PCの前に張り付いて相場を見なくてはならない

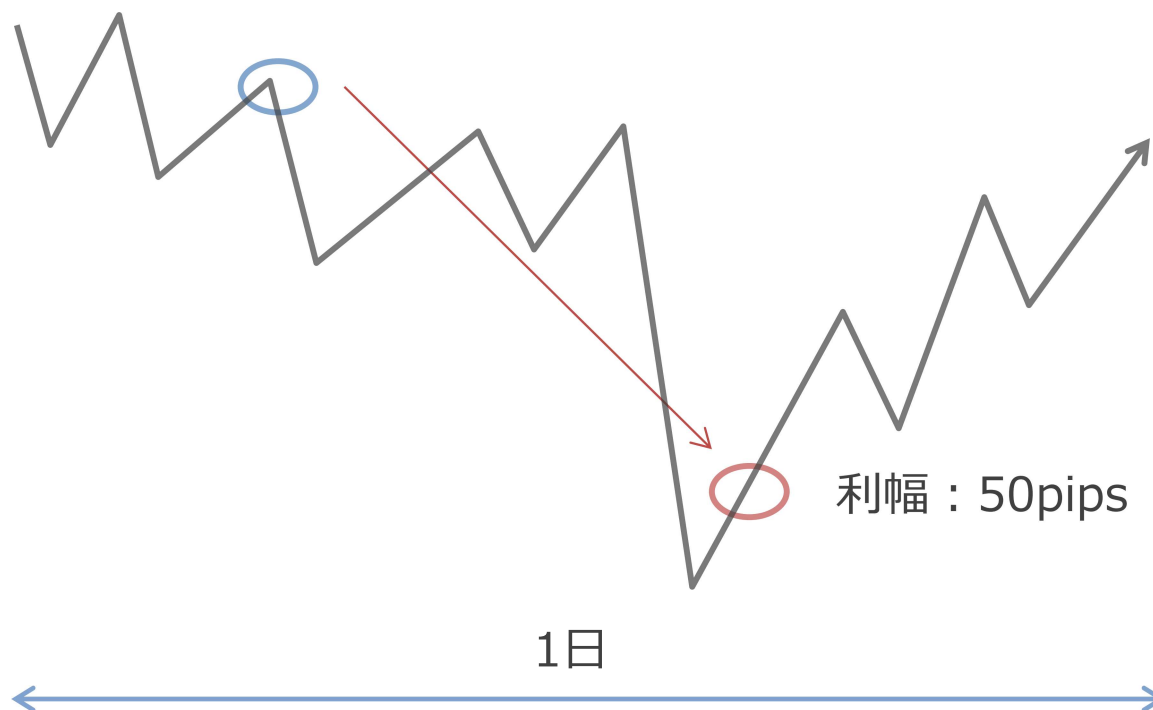
瞬間の値動きを利用するので、エントリーと損切りするタイミングの決断力が必要になる

1-4. デイトレード

デイトレードは、数分～1日の範囲内で取引をしていくスタイル

○ は新規売りエントリー

○ は決済買い



デイトレードは、1日の間で取引を終了する

デイトレは、ずっと相場をチェックしているわけではないので、自分が売買したい価格と損切り、利益確定をしたい価格、を予約するため指値注文などを利用します。

また、指値注文を利用するため、抵抗帯となっている価格付近を把握する必要があります。

1 - 5. メリット、デメリット

デイトレードは、必ずその日の内にポジションは決済をして、取引を終了させます。
主な理由は、寝ている間の相場変動の影響を受けないようにするためです。

メリット

取引を1日の間で終わらせるので、寝ている間の相場変動の影響を受けない

1日で1回～5回程度の取引なので、PCの前に張り付かず時々チェックすればよい

デメリット

指値注文などを使いこなす必要がある

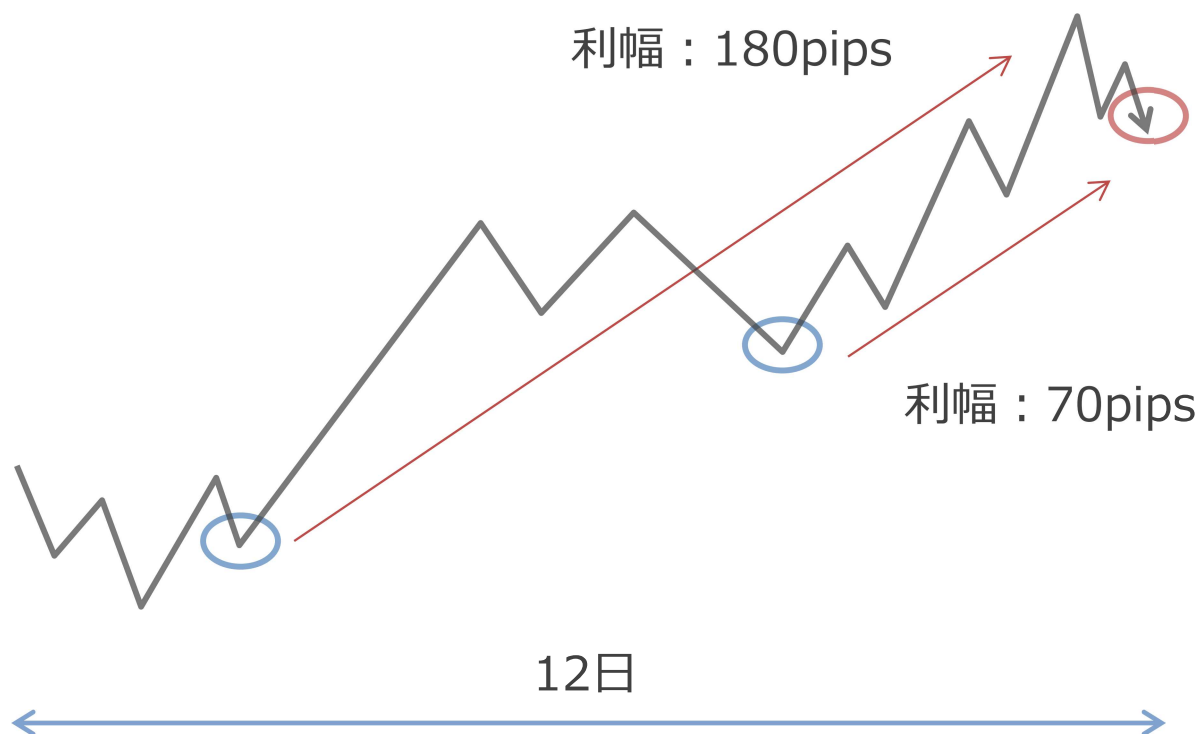
値動きがほとんど無い日だと、利益幅が望めない

1 - 6. スイングトレード

スイングトレードは、1日～数週間の単位で取引をしていくスタイル

○ は新規買いエントリー

○ は決済売り



スイングトレードは、中規模のトレンドの値動きを利用して取引する

1つのトレンドの始まりから終わりまでの値動きを利用して、利益を狙います。

短～中期間でポジションを持ち、途中で新規にポジションの量を増やしていくため
リスクを抑えて低レバレッジで取引をするのが好ましいです。

1-7. メリット、デメリット

スイングトレードでも、1日で朝、昼、晩、の3回は相場動向をチェックします。
大きく下落し値崩れをするような日があれば、トレンド転換の可能性がでてくるからです。
そのような場合は、トレンド転換を考慮してポジションを一旦決済する必要があります。

メリット

中規模のトレンドを利用するので、狙える利益幅が大きい

売買ポイントが安定している事が多く、シンプルに取引できる

デメリット

売買チャンスがくるまで、数日から数週間ほど待つ必要がある

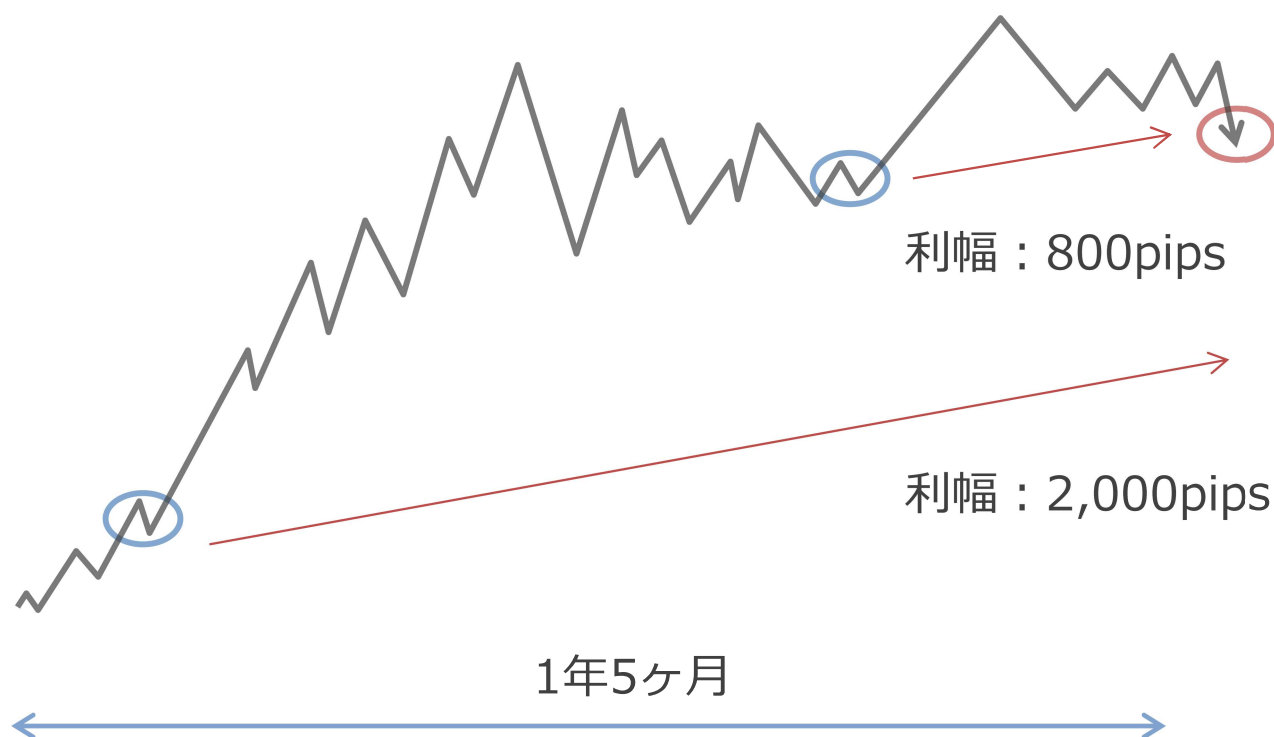
スワップを支払うポジションは避ける必要がある [例. 豪ドル/円の売り]

1 - 8. ポジショントレード

ポジショントレードは、数週間～数年の単位で取引をしていくスタイル

○ は新規買いエントリー

○ は決済売り



ポジショントレードは、多資金用意できて時間がとれない人向け

数週間～数年の単位で取引をしていくスタイルです。

相場の大きな流れを利用し利益を狙い、長期での取引期間になるので、資金は多めに用意できるが相場をあまり見ることができない方におススメです。

1-9. メリット、デメリット

ポジショントレードは、上昇トレンドの場合だと大きく下落したところを随所で買っていきポジションを増やしていくスタンスになります。

また、短期売買のポジションと混同してややこしくなるので、別口座にて管理すると良い。

メリット

相場の大きな流れを利用するので、ピンポイントで売買を考えなくてもよい

長期間でポジションを持つので、スワップ金利も活用できる

デメリット

大きな流れでの取引となるので、損切りする価格幅が狭いとすぐ損切りすることになる

ピンポイントでの取引ではないので、一時的に大きい含み損を抱えることになる

ポジションの期間設定 まとめ

- ① **スキャルピング** | スキャルピングは、高レバレッジで細かい利幅の取引回数をこなす
- ② **デイトレード** | デイトレードは、1日の間で取引を終了する
- ③ **スイングトレード** | 中規模のトレンドの値動きを利用して取引する
- ④ **ポジショントレード** | 多資金用意できて時間がとれない人向け

2. 投資額とレバレッジの設定

投資額とレバレッジの設定 について

取引手法ごとの、投資額とレバレッジの適切な目安を知りましょう

- ・投資額とレバレッジは、取引手法によって目安を変える
- ・取引手法が異なると、狙える利益幅も一時的に抱える損失幅も異なってくる

取引期間が長ければ → **多資金、低レバレッジ**

取引期間が短ければ → **小資金、高レバレッジ**



短期目線で取引するから
使う資金は少なく取引しよう



資金：100万
投資額：10万

資金割合が低い



長期目線で取引して、儲けたいから
資金を結構使って取引しよう



資金：100万
投資額：80万

資金割合が高い

2 - 1. 取引手法ごとの適切な目安

取引手法ごとに、使う資金割合とレバレッジの比率のバランスが大事

取引手法ごとの、資金割合とレバレッジの目安

	手法	利益幅	レバレッジ	資金割合
超短期	スキャルピング	小	20倍	小
短期	デイトレード	小～中	10～20倍	小～中
中期	スイングトレード	中	5倍	中
長期	ポジショントレード	中～大	1～5倍	大

取引手法ごとに狙える利益幅も異なるので、資金効率性を考える

短期手法の場合は、狙える利益幅も少ないため、高レバレッジで取引をして少ない投資額の割合に対して高いリターンを狙います。中～長期手法の場合は、狙える利益幅が大きいですがその分リスクも高いため、使う資金割合を多くして低レバレッジの取引をします。

2-2. 投資額とレバレッジの関係

レバレッジ比率は**投資額**と**取引量**によって決まる

例1) ドルを1万通貨購入する時の、**投資額の違い**によるレバレッジ比率

投資額	取引量	レバレッジ
100万円	1万ドル [100万円]	1倍
20万円	1万ドル [100万円]	5倍
10万円	1万ドル [100万円]	10倍
5万円	1万ドル [100万円]	20倍

取引量が一定の場合、投資額の大小によってレバレッジ比率が変わる

上記の表は、例として、取引量を1万通貨売買する際の違いです。

投資額が多いほど、低レバレッジになり安全な取引内容になります。

投資額が小さいほど、高レバレッジになりリスクのある取引内容になります。

2 - 3. 投資額と利益率の関係

取引量が一定なら、[投資額**大**：利益率**低**]、[投資額**小**：利益率**高**]

例1-2) ドル円が100円から105円になった場合 [5円分の利益]

投資額	取引量	レバレッジ	利益	利益率	
100万円	1万ドル	1倍	5万円	5%	100万円 → 105万円
20万円	1万ドル	5倍	5万円	25%	20万円 → 25万円
10万円	1万ドル	10倍	5万円	50%	10万円 → 15万円

例1-3) ドル円が100円から95円になった場合 [5円分の損失]

投資額	取引量	レバレッジ	利益	利益率	
100万円	1万ドル	1倍	-5万円	-5%	100万円 → 95万円
20万円	1万ドル	5倍	-5万円	-25%	20万円 → 15万円
10万円	1万ドル	10倍	-5万円	-50%	10万円 → 5万円

2-4. 取引量と利益率の関係

投資額が一定なら、[取引量**大**：利益率**高**]、[取引量**小**：利益率**低**]

例2-1) ドル円が100円から105円になった場合 [5円分の利益]

投資額	取引量	レバレッジ	利益	利益率	
100万円	1 万ドル	1倍	5 万円	5 %	100万円 → 105 万円
100万円	5 万ドル	5倍	25 万円	25 %	100万円 → 125 万円
100万円	10 万ドル	10倍	50 万円	50 %	100万円 → 150 万円

例2-2) ドル円が100円から95円になった場合 [5円分の損失]

投資額	取引量	レバレッジ	利益	利益率	
100万円	1 万ドル	1倍	-5 万円	-5 %	100万円 → 95 万円
100万円	5 万ドル	5倍	-25 万円	-25 %	100万円 → 75 万円
100万円	10 万ドル	10倍	-50 万円	-50 %	100万円 → 50 万円

投資額とレバレッジの設定 まとめ

- ① 取引手法ごとの適切な目安 | 狙える利益幅も異なるので、資金効率性を考える
- ② 投資額とレバレッジの関係 | レバレッジ比率は**投資額**と**取引量**によって決まる
- ③ 投資額と利益率の関係 | [投資額**大** : 利益率**低**]、[投資額**小** : 利益率**高**]
- ④ 取引量と利益率の関係 | [取引量**大** : 利益率**高**]、[取引量**小** : 利益率**低**]

3. 損切りの設定

損切りの設定 について

資金管理で最も大切なことは、**損失をいかに抑えるか**です

- ・ 損失を抑えるためには、損切りが必要になる
- ・ 一度の損切りで、いくらまでなら許容範囲なのか知る

自分の損切り許容範囲を知れば、損失を出したとしても大敗することはない



中期目線の取引だし、低リスクで
損切りは資金の-5%内にしとこう



資金：100万
損切り許容範囲：-5%

損切りしたら-5万の損失



短期目線の取引だけど、損切りは嫌だし
損切りまで幅を広く設定しよう



資金：100万
損切り許容範囲：-30%

損切りしたら-30万の損失

3 - 1. 損切りで把握しておくこと

資金量、売買する取引量によって損切り設定は変わる

損切り設定で把握しておくこと

(1) 取引量に対しての、1pipsの損益

(2) ロスカットされる価格

(3) 許容できる、損切りの価格帯



自分は資金100万用意したけど
損切りの基準って何だろう？

損切りの原則は、一度の損切りで資金の大半を失わない、こと

トレードをしていたら損切りしなくてはならない局面は必ずありますので、一度の損切りで資金の大半を失うようなことはしてはいけません。そのため、いくら値動きするといくら損失が生じるのか、1回の取引で損失可能な金額はいくらなのか、などを把握することが重要です。

3 - 2. 取引量に対しての、1pipsの損益

・円とpipsの換算表

1円	= 100銭	= 100pips
0.1円	= 10銭	= 10pips
0.01円	= 1銭	= 1pips
0.001円	= 0.1銭	= 0.1pips

・取引量による、1pipsの損益

取引量	1pipsの損益
1,000通貨	±10円
1万通貨	±100円
10万通貨	±1,000円
100万通貨	±10,000円

例) ドル/円を100.250円の時に1万通貨買っていた場合

100.550円になった時と100.095円になった場合では、いくら損益になるでしょうか？

※答えは次のページ

損益は、1万通貨で100pips動くと±10,000円、を基準にする

為替価格は、上記の例のように通常は小数点以下の銭の単位で価格変動します。

しかし、銭の単位で損益計算するとややこしいので、pipsを損益計算の基準にします。

- **100.250円 → 100.550円**

30pipsの上昇なので、損益は $+30\text{pips} \times 100\text{円} = \textbf{+3,000円}$

- **100.250円 → 100.095円**

15.5pipsの下落なので、損益は $-15.5\text{pips} \times 100\text{円} = \textbf{-1,550円}$

- 補足

1万通貨で100pips動くと → $\pm 10,000\text{円}$

2万通貨で100pips動くと → $\pm 20,000\text{円}$

3万通貨で100pips動くと → $\pm 30,000\text{円}$

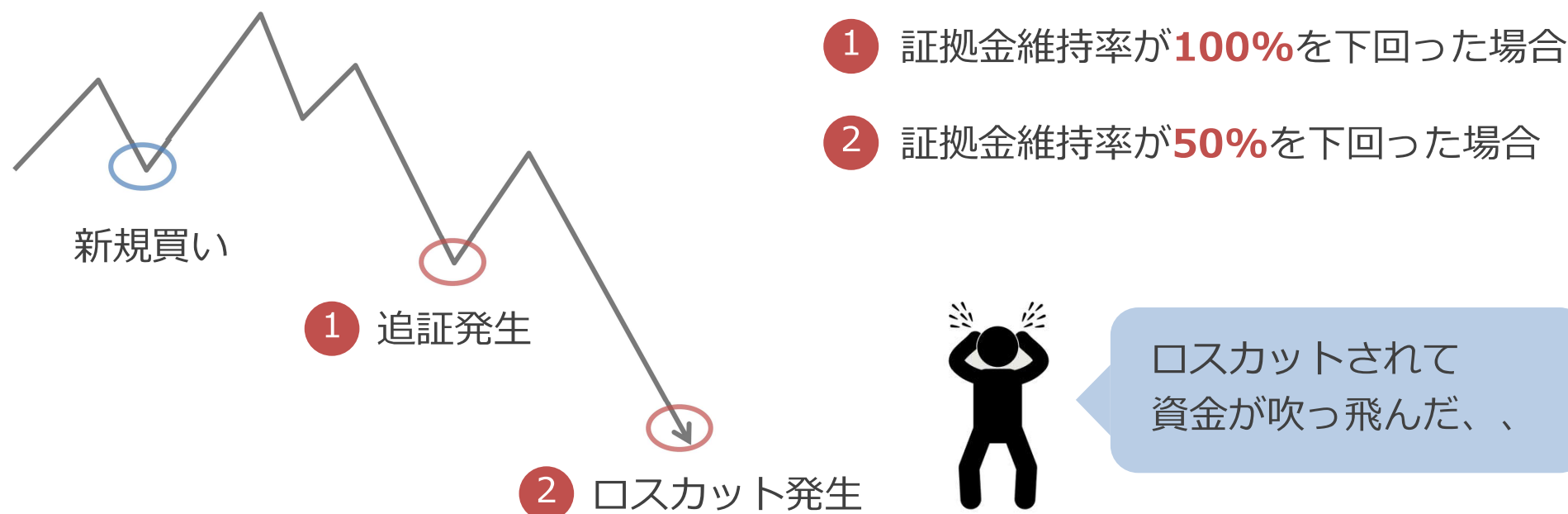
⋮

5万通貨で50pips動くと → $\pm \text{〇〇円} ?$

3 - 3. 追証とロスカット

FXには、**追証** [おいしょう] と**ロスカット**、というシステムがある

・各FX会社ごとに規定する適用条件がある



追証とロスカットが適用されると、ポジションを強制決済される

追証とロスカットは、証拠金維持率の状態で段階的に発生します。

追証の場合は、猶予期間があり期限内までに不足金額を入金すれば大丈夫な代わりに、

ロスカットは、発生した瞬間に問答無用で強制決済されます。

3 - 4. ロスカットされる価格

証拠金シミュレーターで、ロスカットされる価格を簡単に計算できる

例) GMOクリック証券

口座区分	☒ 個人口座 ☐ 法人口座
入金額(円)	200,000
通貨ペア	米ドル/円
取引数量(取引単位)	1 ×10,000
売買選択	新規売 <input checked="" type="button" value="新規買"/>
売買レート	現在レートを入力 100.000
決済レート	103.000

取引可能最大数量	レバレッジ	損益
5	×5.0	¥30,000
追加証拠金発生レート	ロスカット発動レート	
¥83.333	¥81.632	

- ・ 入金額200,000円
- ・ ドル円が100円の時に、1万通貨買った場合

3 - 5. 許容できる、損切りの価格帯

基本は、1回の損失額を自己資金の**2%~5%**以内に収める

- ・ 2%~5%以内で損切りできていれば、損切りが連続しても余裕がある

練習として、以下の取引内容の場合の、損切りすべき価格を考えてみましょう

投資額	取引量	レバレッジ	購入価格	許容損失額	損切り価格
30万円	1万ドル	3.3倍	100円	-1.5万円	?

- ① 30万円の投資額を使って取引する
- ② ドル/円が100円の時に、1万通貨購入した
- ③ **許容できる損失額は1.5万円** [損失が出たとしても、1.5万円に抑えたい]



自分はこの場合、いくらで損切りすればいいのかな??

1. 1万通貨購入している場合の、1pipsの損益は±100円
2. 1.5万円 = 150pips × 100円
3. 買った価格 [100円] よりも150pips下落した時の価格は [**98.50円**]

P30の条件での損切り設定

投資額	取引量	レバレッジ	購入価格	許容損失額	損切り価格
30万円	1万ドル	3.3倍	100円	-1.5万円	98.50円



100pipsで1円だったから
50pipsは50銭=0.5円だな

損切りの設定 まとめ

- ① **損切りで把握しておくこと** | 原則は、一度の損切りで資金の大半を失わない、こと
- ② **取引量に対しての、1pipsの損益** | 1万通貨で100pips動くと±10,000円を基準にする
- ③ **追証とロスカット** | 追証とロスカットが適用されると、ポジションを強制決済される
- ④ **ロスカットされる価格** | 証拠金シミュレーターで、簡単に計算できる
- ⑤ **許容できる、損切りの価格帯** | 1回の損失額を自己資金の2%~5%以内に収める